

研究課題名	脳卒中患者における心不全合併が退院後アウトカムに与える影響
倫理委員会承認番号	248
当院の研究責任者（所属）	小林 実希（急性期リハビリテーション課）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	野添 匡史（甲南女子大学 理学療法学科 准教授）
本研究の目的	・脳卒中患者を対象に、心不全合併が退院後のアウトカム（ADL・死亡率・再発）に与える影響を観察し、脳卒中患者における予後不良因子を明らかにすること
調査データの該当期間	2019年4月～2020年4月
研究の方法（対象者）	上記期間中に脳神経センター大田記念病院にて入院加療となりリハビリテーションを実施した脳卒中患者(SAHを除く)とする。
研究の方法（使用する情報）	背景因子(年齢、性別、体重、治療情報等)、入院時、退院時、退院1年後の情報を収集し、日常生活動作能力(FIM)との関係性を後方視的に検討する。
試料／情報の他機関への提供	当院責任者が脳神経センター大田記念病院の電子カルテネットワーク内に対応表を作成する。この対応表に基づいて連結可能匿名化した診療記録に含まれる情報は専用のデータファイルに入力する。
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、対応表を用いて、個人を特定できる形としない。
本研究の資金源（利益相反）	なし。
備考	